

しごとと改革取組状況報告

キャッシュレスの取組

平成 3 1 年 1 月 3 0 日
総務局・会計管理局

キャッシュレスの取組：平成30年度の取組状況（全体）

項目		所管局	平成30年度の取組内容
支出	赴任・帰住旅費	総務局 会計管理局	4月キャッシュレス化実施済
	特別職非常勤 職員の旅費		6月キャッシュレス化実施済
	確定払旅費 (宿泊を伴うもの)		
	概算払旅費	総務局 会計管理局	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 各局アンケート調査・委託調査【4～10月】 ➤ キャッシュレス化策の検討【7～12月】 ➤ 規定等見直し【1～3月】 <p>⇒ 平成31年4月 原則キャッシュレス化</p>
	資金前渡	会計管理局	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 委託調査【5～10月】 ➤ キャッシュレス化策の検討【4～12月】 <p>⇒ 平成31年1月 キャッシュレス化試行開始</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 試行検証・規定等見直し【31年度】 <p>⇒ 平成32年4月 原則キャッシュレス化本格実施</p>
収入	使用料 ・手数料	総務局 会計管理局	<ul style="list-style-type: none"> ➤ キャッシュレス収納の課題・導入条件等の検討【4～12月】 ➤ 事業者ヒアリング・各局調査【7月～】 ➤ 各局へ導入の働きかけ【12月～】 <p>⇒ キャッシュレス収納順次導入【31年4月以降】</p>

◆ 資金前渡の取組（会計管理局）

【資金前渡による支払について】

- ・各所属において「（1件5万円以下の）文房具類・日用品等の購入」等を現金で支払い
各所属数：817、本業務に従事する管理者（資金前渡受者）と事務担当者：1,600人以上
平成28年度実績：166,149件、3,830,838千円

<取組状況>

○ 調査委託の実施（平成30年7月～）

- ・ブランドデビットカード（※）及びクレジットカード等のスキーム及び課題整理
- ・所属特性（本庁・事業所、地域等）に応じた本決済手段の利用可能性等を分析
- ・現金支払に加えて、ブランドデビットカードの導入等を検討

○ ブランドデビットカードの試行実施（平成31年1月～）



※カード利用と同時に銀行口座から代金が引き落としされるカード。クレジットカード対応店舗で利用可能

<今後の予定>

○ 平成31年度から試行拡大、マニュアル作成、研修実施、検査体制の確立等

キャッシュレスの取組：収入に関する取組①

◆収入のキャッシュレス化の取組

<取組状況>

- 特に利用者が多く、インバウンド利用が想定される主な施設等へは順調に導入（文化施設、文化財庭園、スポーツ施設、都立病院等への導入完了）
- 上記以外の施設の使用料や行政手続の窓口等における手数料への導入について検討を推進

<導入に当たっての課題>

- キャッシュレス導入による利用者増等の効果を見込むことが困難
- 一方、初期投資や利用手数料等の新たな費用が発生

費用対効果を見込むことが難しい中、キャッシュレス導入を進めていくためには、**都民サービス向上等の導入効果が、より見込める施設や行政窓口等への導入**の検討が必要

使用料

- 各局調査を実施し、都民サービス向上等の導入効果がより見込める施設を選定し、**優先的にキャッシュレス（クレジットカード・電子マネー）導入を推進**
- 新たな決済手段（QRコード等）についても導入を検討

手数料

- 窓口へ来庁せずに手続が可能となることで、より都民サービスの向上が見込まれる**行政手続のオンライン化※と連携し、手数料のキャッシュレス化を推進**

※行政手続のオンライン化については、平成30年5月に「電子申請取組方針」を改正し、行政手続の原則オンライン化を計画的に推進している。（平成33年度目途）

使用料

<優先的に導入すべき施設の選定>

- 現行の収納手段が現金のみの施設を洗い出し
- 都民サービス向上等の導入効果がより見込める施設として、一定以上の利用がある施設を選定

【選定条件】

- ・ 利用件数が多い（10万件以上）

条件に合致する5施設は、東京2020大会に向け、平成31年度中の導入を進める

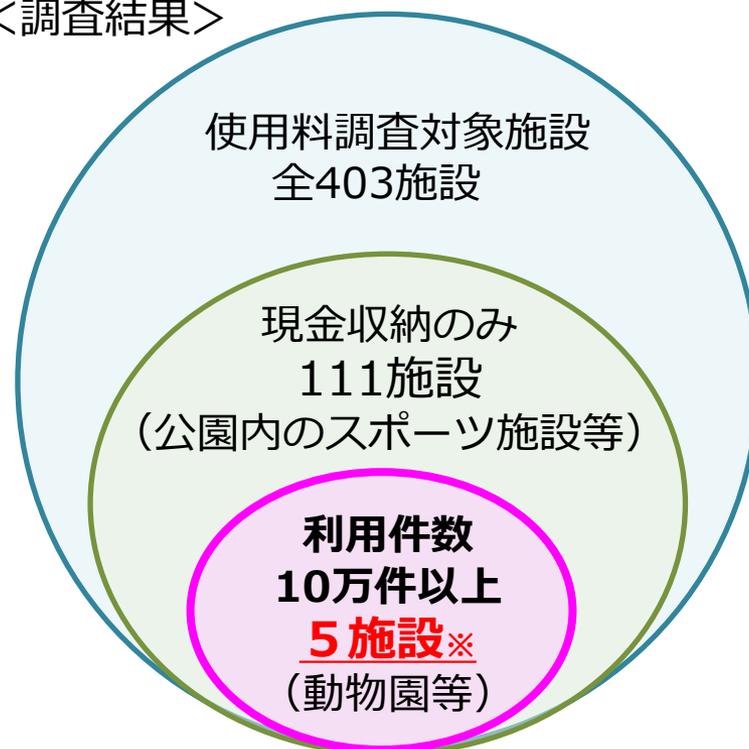
※これにより10万件以上の利用がある主要な都立施設へのキャッシュレス手段の導入はすべて完了

<上記以外の施設>

- 利用件数の状況から費用対効果を見込むことが難しいため、今後のキャッシュレスの社会的動向（QRコード決済等）を踏まえ、コストパフォーマンス・利便性の高い手段の導入等を継続的に検討

※31年度からQRコード実証実験を実施予定（恩賜上野動物園）

<調査結果>



※5施設合計の収納額は、111施設の約7割を占める。

手数料

- 調査対象127種類（※警視庁を除く） ⇒現金収納のみ54種類

○31年度下期より、手数料の支払を伴う行政手続のオンライン化を順次実施

【参考】キャッシュレスを優先的に導入すべき施設（5施設）

施設名	利用件数	導入予定
① 恩賜上野動物園	2,498,940	平成31年度上期
② 葛西臨海水族園	682,172	平成31年度中
③ 多摩動物公園	441,238	
④ 神代植物公園	362,263	
⑤ 井の頭自然文化園	357,716	

クレジットカードのみ	電子マネーのみ	クレジットカード及び電子マネー
<p>○都税 (全税目 ※非電算化税目除く)</p> <p>○水道・下水道料金</p> <p>○文化施設 東京文化会館 東京芸術劇場</p> <p>○スポーツ施設等 東京体育館 駒沢オリンピック公園総合運動場 東京武道館 東京辰巳国際水泳場 有明テニスの森公園テニス施設 武蔵野の森総合スポーツプラザ 大井ふ頭中央海浜公園 若洲海浜公園 (ゴルフリンクス)</p>	<p>○都立庭園 浜離宮恩賜庭園 旧芝離宮恩賜庭園 小石川後楽園 六義園 向島百花園 清澄庭園 旧古河庭園 旧岩崎邸庭園 殿ヶ谷戸庭園</p>	<p>○都立病院 <u>広尾病院</u> <u>大塚病院</u> <u>駒込病院</u> <u>墨東病院</u> <u>神経病院</u> <u>多摩総合医療センター</u> <u>松沢病院</u> <u>小児総合医療センター</u></p> <p>○都立駐車場 八重洲駐車場 日本橋駐車場 宝町駐車場 新京橋駐車場 東銀座駐車場 板橋四ツ又駐車場</p> <p>○文化施設 <u>東京都江戸東京博物館</u> <u>江戸東京たてもの園</u> <u>東京都美術館</u> <u>東京都写真美術館</u> <u>東京都庭園美術館</u> <u>東京都現代美術館 (31年3月導入予定)</u></p>

(注) 下線は30年度新たに導入した施設 (但し、都立病院及び東京都江戸東京博物館は、既存のクレジットカードに加え、電子マネーを新たに追加)

キャッシュレスの取組：31年度以降の取組スケジュール

		平成31年度		平成32年度		平成33年度以降
		上期	下期	上期	下期	
使用料	優先的導入施設 (5施設)	<p>東京2020大会に向け31年度中に順次導入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・恩賜上野動物園 (31年度上期) ・他4施設 (31年度中) 				
	上記以外の施設	<p>キャッシュレスの社会的動向を踏まえ継続的に検討</p> <p>QR実証実験 (恩賜上野動物園)</p> <p>QR実証実験のデータ分析・検証⇒導入支援へ</p>				
手数料		<p>行政手続のオンライン化 (平成33年度目途)</p> <p>行政手続のオンライン化と連携しキャッシュレス化を推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・31年度下期：電子申請システム (ペイジー対応) の運用開始 ⇒各局にて所管手続 (手数料) を順次オンライン化 				